

慶應義塾大学教職課程センター 2005年度第1回公開研究会

こどもと共に創る学び、 その魅力

講師

金森俊朗氏

日本生活教育連盟会員(全国委員)
金沢市立西南部小学校教諭

2005年

6月5日(日) 10:00~12:30

慶應義塾大学三田キャンパス 519教室

**入場無料
申込不要**



慶應義塾大学教職課程センター
2005年度第1回公開研究会



こどもと共に 創る学び、 その魅力

講師

金森俊朗氏

日本生活教育連盟会員(全国委員)
金沢市立西南部小学校教諭

2005年

6月5日(日) 10:00~12:30

慶應義塾大学三田キャンパス 519教室

入場無料
申込不要

人と人とのつながり。人・モノ・コトとの共感的な出会い。金森さんが一貫して取り組まれているテーマです。「学力低下」とかまびすしい現代の中であって、「学び」はますます「個別化」の方向に突き進んでいます。他者の個性に気づいたり、時には「自分らしさ」を知ることすら困難になっています。このような時代だからこそ、「つながり」と「共感」の中で学んでいくことが、しっかり強調され実践されなければならないと思うのです。

今回の研究会では、金森さん自らが、講演のみならず模擬的に授業を展開していただきます。当事者としてこの学びの場に立ち会うことで、教職課程を履修するみなさん、とりわけ教科専門がメインと誤解されがちな中等教育教員をめざすみなさんにとっては、固定的な学校教育のイメージを覆される経験をすることになるでしょう。もちろん、教育方法の妙を学んだり評価したりという視点で臨むことも可能でしょう。教職課程にかかわる私たちは、教えのプロになるうとがんばりすぎるあまり、学ぶことのおもしろさと尊さを忘れがちです。そんな日頃の悪い“クセ”を一旦忘れて、まさにそこに創られてくる「学び」に「参加」してみましよう。「学ぶ」ということに、まだまだ身体も心も決して錆びてはいないことが、きっと再確認できると思います。(文責：藤本和久)

(((金森俊朗氏プロフィール)))

1946年、石川県生まれ。金沢大学教育学部卒業。石川県民教育文化センター副所長、日本生活教育連盟会員(全国委員)。石川県金沢市立西南部小学校に勤務。

「仲間とつながりハッピーになる」という教育思想をきっかけ、人と自然に直に触れあうさまざまな実践を試みる。80年代より、本格的にいのちの教育に取り組み、日本で初めて小学生へのレス・エデュケーションを実施する。その活動は、医療・福祉関係者からも大きな注目を集め、「情操教育の最高峰」と高い評価を受けている。97年、中日教育賞を受賞。

主著に『太陽の学校』、村井淳志共著『性の授業 死の授業』(以上、教育史料出版会)、『いのちの教科書』(角川書店)などがある。



近著

『希望の教室 金森学級からのメッセージ』
(角川書店)



慶應義塾大学三田キャンパス
〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

- JR山手線、京浜東北線
田町駅下車(徒歩約8分)
- 都営地下鉄浅草線(①)
都営地下鉄三田線(②)
三田駅下車(徒歩約7分)
- 都営地下鉄大江戸線
赤羽橋駅下車(徒歩約8分)

キャンパス内、当日案内有

((主催・お問い合わせ))

慶應義塾大学教職課程センター
TEL 03-5427-1618